

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	◎			・指導訓練室などのスペースは利用定員比の基準以上に満たされている。
	②	職員の配置数は適切であるか	◎			・職員配置数は適切に行われている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	◎			・バリアフリー化が整った施設である。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と振り返り）に、広く職員が参画しているか	◎			・スタッフ会議や支援会議には常にスタッフ全員が参加して振り返りや新たな目標について意見を出し合っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	◎			・保護者アンケートの結果を業務、支援に活かせるように改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			・ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		◎		・第三者による外部評価は行っていないが、出来事は理事会で常に報告している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	◎			・虐待防止などの研修は常に実施して、資質の向上を図っているが、他の施設見学など視野を広げる研修も実施した。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			・半年ごとの面談でアセスメントを行い、子供と保護者のニーズや課題について話し合いを行った上で支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	◎			・標準化されたアセスメントツールを活用した上で振り返りを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	◎			・毎月の会議でプログラム内容を決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎			・季節感や子供の状況などに合わせて楽しめる様工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇にに応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	◎			・利用形態に合わせた内容を設定している。

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			・個別活動と集団活動を適宜組み合わせて作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎			・その日に行う支援の内容については予め内容や役割分担を話し合った上で実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	◎			・支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点について意見を出し合うなど共有しながら次の支援に繋げている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎			・必ず当日に記録し、振り返りや会議を通じてより良い支援につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	◎			・半年ごとの振り返り、モニタリングを実施して新たな計画書を作成している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	◎			・ガイドラインに沿った内容で支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	◎			・対象児童にふさわしい職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		◎		・学校との情報共有は可能な限り行い、子供達が困らないよう適時適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	◎			・医師の指示の基に指導看護師と連携を図りながら実施している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	◎			・可能な限り就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	◎			・学校卒業後の情報提供は適宜行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		◎		・神奈川県立子ども自立センター「きらり」などへ訪問するなどの研修を実施している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			◎	・現時点で交流の機会は得られていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	◎			・事業所として参加している。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	◎			・子供の状況は常に保護者と情報共有した上で、課題などについて共通理解を図っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			◎	・保護者に対するペアレントトレーニング等の支援は行っていない。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	◎			・運営規程は掲示することで周知を図り、支援の内容については常に保護者と情報共有、利用者負担額は重要事項説明の他、毎月の負担額は「障害児通所給付費・入所給付費等明細書（確認リスト）」にて周知を図っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	◎			・相談依頼があれば、対応出来る体制は取っている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			◎	・令和6年度に家族参加の運動会を開催する予定。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	◎			・苦情対応の体制は常に取っている。なお、近年苦情の訴えはない。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎			・毎月、行事予定や伝達事項を掲載したものを発行している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	◎			・個人情報への配慮はなされている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	◎			・時には電話連絡をするなど、意思の疎通や情報伝達についての配慮はなされている。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			◎	・コロナ感染症が発生する以前は、他の障がい者団体を招いてバーベキュー大会などの行事を行っていたが、現在は中止している。
非常時	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	◎			・各マニュアルは作成して施設内に掲示して周知を図っている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練を行っているか	◎			・特に大地震や津波などは、スタッフ間でもよく話し合い対応策を考えて訓練している。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	◎			・年に1回実施している

等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、虐待防止委員会を開催して職員への虐待防止意識を高めている。事業所に於いて身体拘束は過去にもなく、今後も身体拘束は行わない。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・現在対象児はいないが、以前は家族の協力をお願いし、対応した。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事案は毎月、職員会議で事例の振り返りを行っている。